

交通安全・歯みがき親子教室



ゴーカートを使って、楽しみながら横断歩道の渡り方を学びました。

今年は初の試みとして、毎年各保育所で実施している「交通安全教室」、「歯みがき教室」を3保育所合同で11月25日に開催しました。

たくさんのお友達と一緒に交通安全のマナーや、歯みがきの大切さを学び、また、「早寝早起き朝ごはん」キャラバン隊が、元気な子は どうして早寝早起き朝ごはんのかを、劇で教えてくれました。

今後も、子どもと保護者が一緒になって楽しく学ぶことができる、このような活動を続けていきたいと思います。



ぶくぶくうがい！

たてたてみがき！



お母さんと一緒に仕上げみがき！

きれいにみがけたよ！

お子さんの健やかな成長のために、適切な運動、調和のとれた食事、十分な睡眠が大切です

子どもたちに感動体験を！

11月から3学期にかけて、日ごろの教科の学習や、総合的な学習で学んだことを発表する場として、各学校で文化祭や学習発表会が行われます。



12月4日、大豊小学校体育館で学習発表会が保護者や地域の方々の参観のなか行われました。

内容は全校の歌や演奏、朗読と各学級の発表です。1・2年は国語で学習した「かさこじぞう」の劇を2人の児童が熱演し、低学年ならではのほほえましい演技に大きな拍手が送られました。

3・4年生は「ともだちや」という劇で、寂しがり屋のキツネが1時間100円で友達になる商売をする中で、本当の友達について考えるという道徳的内容に、見る人も考えさせられました。

外国語教育で小中一環教育



大豊町教育委員会では、「ホップ・ステップ・ジャンプの小中一環教育」と「時代や社会に対応できる力の育成」をめざし、小中の外国語教育の円滑な連携を図っています。本年度は、日本人の外国語活動支援員（満洲先生）と、すでに広報でお知らせしたCIR（国際交流員）のマックス、ALT（外国語指導助手）のソエンの計3人を、各保育所、各学校に派遣し、保育士、小学校各学級担任・中学校の教科担任と連携し学習を進めています。

今回の英語劇「ピーチボーイ」は、英訳を満洲先生とマックスが担当し、2人とともに学級担任が日常の指導を行いました。そして、当日はマックスがナレーションを行い、子どもたちの頑張りとあいまって、すばらしい発表ができました。なんと、「ももたろう」も「ももたろう」の聞き慣れたメロディーまで、「ピーチボーイ」ピーチボーイ」と歌うことができました。

5・6年生は、「ピーチボーイ」？ピーチボーイ桃、ボーイ男の子。実は、よく知られた「桃太郎」のお話を、すべて英語にした英語劇で、当然台詞はすべて英語。小学校では、来年から外国語活動の学習が完全実施されるため、現在

感動体験という言葉に耳にします。広辞苑によると、「感動」とは「深く物に感じて心を動かすこと」と書かれています。感動は自ら感じるものと、一人ひとりその感じ方や場面は違いますが、感動体験があることが、将来本人の自信となり、「生きる力」の源となっていくはずで

児童の作文より



英語劇ピーチボーイももたろう 大豊小6年 阿波井 貫人

学習発表会でやる英語劇「MOMOTARO」の練習が、十月十二日から始まりました。満洲先生に台本をもらったとき、ぼくはむずかしそうだなあと思いました。なぜかという、台本は英語で書いてあったし、すごく長くて、なかなか覚えられそうになかったからです。

ぼくたちは、台本に目を通してから役を決めました。人数が少ないから、みんな二つの役をやらなければなりません。ぼくは、おじいさん役と猿役になりました。

みんな何度か英語の力セットテープを聞いて覚えしました。おじいさん役で一番むずかしかった英語は、

「ホワツァ ビック アンド ビューティ フォー ワン。」
「モモタロウ フリーズ ギブ ミー ワン オブ ユア キビダンゴ。」
というところ、

「オニアー ハヴィング ア ドリンクング パーティー。」
というところでした。長いし、何だか舌をかみそうでした。だから、何度も何度も練習しました。だんだん読むのも早くなって、英語を言えるようになってうれしくなりました。

十二月四日は本番でした。ぼくは練習以上に気持ちをこめて、英語のセリフを言いました。おじいさんのセリフも、猿のセリフもうまく言えました。でも、オニを、

「スクラッチング。」
と言ってひっかく時転んでしまって、恥ずかしかったです。

子どもたちは未来の担い手であり、大切な宝です